

流行拡大中！ 新型コロナウイルス感染症

令和6年7月17日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和6年第28週分・7月8日～7月14日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

全国の定点医療機関における新型コロナウイルス感染症の患者報告数は、令和6年第19週から第25週にかけて緩やかに増加しました。一方、第26週、第27週に報告数が急増し、第27週時点で8.07人/定点となりました(図青線)。富山県の定点医療機関あたりの報告数は、第19週から第26週までは3人/定点程度で概ね横ばいで推移しておりましたが、第27週から増加に転じました。第28週の報告数は8.02人/定点とさらに増加しました(図赤線)。昨年の同時期にも、第36週をピークとした流行が認められており、今後の感染状況に注意する必要があります。

衛生研究所で行った直近のウイルスゲノム解析(5月24日～6月25日検体採取)では、33件中27件(82%)からKP系統(KP.1系統1件、KP.2系統1件、KP.3系統25件)が検出されています。KP系統は、今年の1月から県内で流行したJN.1系統の派生株です。県内だけでなく、全国的にもKP.3系統の検出割合が増加しています。KP.3系統はJN.1系統よりやや高い感染伝播力が認められ、令和5年秋開始接種に使用されたXBB.1.5株対応ワクチンで誘導された免疫血清に対し、JN.1系統より高い中和抵抗性が認められています。(Kaku Y, et al., Lancet Infect Dis. 2024 Jun 27)

厚生労働省および富山県は、新型コロナウイルス感染症について、発症後5日間が経過し、かつ解熱および症状軽快から24時間が経過するまでは、外出を控えることを推奨しています。また、一般的に発症後10日間は、他者へ感染させるリスクがあるため、不織布マスクを着用するとともに、高齢者等の重症化リスクの高い方との接触は控えるなど、感染予防に配慮しましょう。

《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 1件(50歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件(50歳代、男性、O157、VT1VT2)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件(50歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件(60歳代、男性)
- 梅毒 1件(50歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

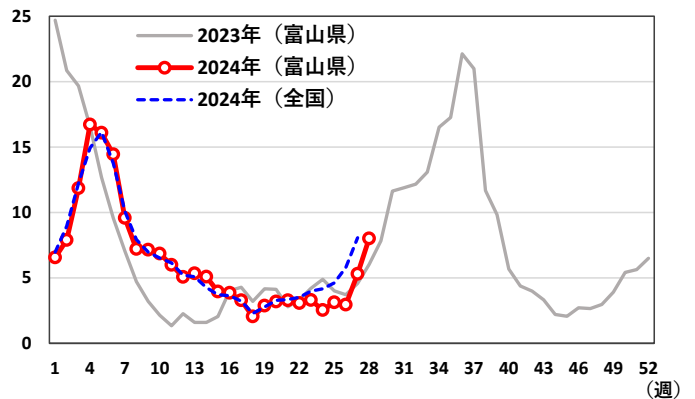
《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	手足口病	21.93 (↑)	18.76
2位	COVID-19	8.02 (↑)	5.31
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.17 (↓)	3.55
4位	RSウイルス感染症	2.93 (↑)	2.59
5位	感染性胃腸炎	2.62 (↓)	3.83
6位	ヘルパンギーナ	1.55 (↑)	1.45

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>

※第9週分以降、URLが変わりました

(人/定点) 新型コロナウイルス感染症報告数



※2023年第1～18週は、全数報告数から定点医療機関の症例数を抽出し算出した



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第28週 令和6年7月8日～令和6年7月14日）

分類	疾患	今週報告分（第28週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核			1			1	8	2	22	5	29	66	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く			1			1	5	2	12	3	16	38	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症				1		1		1	3	3	3	10	
	四類感染症	E型肝炎											1	1	
		レジオネラ症					1	1	1	1	7	1	15	25	
	五類感染症	アメーバ赤痢											2	2	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			1			1	1		3		8	12	
		急性脳炎									1		1	2	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		3	1	8	13	
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	2	3	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									3	1	2	6	
		侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1	
		侵襲性肺炎球菌感染症							2		1		4	7	
		水痘（入院例）							1	1					2
梅毒				1			1	1			3	4	9	17	
播種性クリプトコックス症												1	1		
百日咳												1	1		
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（47定点）	インフルエンザ					1	1	1,067	1,029	4,035	1,561	5,068	12,760	
		COVID-19	70	35	108	74	90	377	1,451	838	2,527	1,413	2,208	8,437	
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	4	4	50		27	85	36	53	390	35	259	773	
		咽頭結膜熱	3		7		9	19	85	246	652	34	656	1,673	
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	1	54	3	32	92	167	163	2,456	299	1,165	4,250	
		感染性胃腸炎	22	8	10	6	30	76	660	617	1,342	650	3,102	6,371	
		水痘			2		2	4	2	11	105	9	57	184	
		手足口病	11	31	244	118	232	636	57	206	678	178	906	2,025	
		伝染性紅斑					1	1	1		7	1	8	17	
		突発性発しん			6		5	11	7	12	84	22	76	201	
		ヘルパンギーナ	3	4	17	3	18	45	64	14	57	14	108	257	
		流行性耳下腺炎			1			1	3	1	5	2	6	17	
		眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎										2		2
			流行性角結膜炎							8	1	27	5	9	50
		基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎										3		3
			マイコプラズマ肺炎			1			1			7	1	1	9
			感染性胃腸炎（ロタウイルス）			1.00			0.20				1		1
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）							21	10	31	48	69	179		
COVID-19による入院患者	3	3	1	7	16	30	117	110	82	142	372	823			

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和6年6月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		6月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症		1	1		8	10	1	2	5		53	61
			1.00	0.33		2.00	1.00						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1			4	5		6	2		35	43
			1.00			1.00	0.50						
	尖圭コンジローマ					4	4				2	11	13
						1.00	0.40						
	淋菌感染症			1		3	4			3		9	12
				0.33		0.75	0.40						
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2		1	1	7	11	10	3	12	6	51	82
		2.00		1.00	1.00	7.00	2.20						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1				1	2	5	1	2		5	13
		1.00				1.00	0.40						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。